

バトペノフ記念外傷・整形外科センターにおける CT 室の開室式

9月26日、山田大使はギニヤット保健大臣とともに国立外傷整形外科病院における CT 室の開室式に出席しました。同室における富士フィルム製の CT スキャンは、日本政府の無償資金協力によって寄贈されたものです。山田大使は CT 室の開室に携わった双方の関係者に感謝した上で、セミパラチンスク核実験場をめぐる幾多の問題に関する広島・長崎の医師とカザフスタン側の医療関係者の間で30年も続いている緊密な連携関係に触れ、日本とカザフスタンの間での医療分野における協力の重要性を強調しました。

